

令和5年度 西総合支援学校グランドデザイン

学校教育目標

自分に自信をもち、夢や希望に向かって、挑戦する子どもを育てる
～笑顔 あふれる 西総合～

めざす姿

子ども像

- ・自分や友達のできること、好きなこと、得意なことを見つける子ども
- ・「こうなりたい」「やってみたい」と夢や希望をもつ子ども
- ・友達や教職員と一緒にいろいろなことに挑戦する子ども



学校像

- ・子どもたちが楽しく学ぶ笑顔あふれる学校
- ・子どもや保護者、教職員がキャリアアップをする学校
- ・保護者や地域から信頼される学校



教職員像

- ・子どもたちの「できる」「やってみたい」を育む人
- ・子どもたちの挑戦を見守り、励まし支援する人
- ・自分の「なりたい姿」や夢に向かって仕事をする人



小学部教育目標

好きなことを見つけて、自分から進んで活動する子どもを育てる

- ・いっぱい身体を動かす子ども
- ・自分の好きなことを見つける子ども
- ・できることを活かし、役割に取り組む子ども
- ・自分の思いを自分なりの方法で伝える子ども

中学部教育目標

夢や楽しみを見つけ、笑顔でかわりを上げ、思い切ってチャレンジする子どもを育てる

- ・健康で丈夫な心と体を持つ子ども
- ・笑顔を大切に、ひと・こと・ものとのかわりを上げる子ども
- ・友達や支援者と一緒に取り組む中で、自分の気持ちを発信し、相手の気持ちをわかろうとする子ども
- ・地域や家庭生活の中で、自分の夢や楽しみを見つけ、「できる」自分を信じてチャレンジする子ども

高等部教育目標

社会の一員として、自ら学び、自ら行動する

- ・社会の一員として生きるための心と身体の健康づくりに努める
- ・ひと・もの・こととのかかわりの中で、必要な時に必要な支援を自ら求める
- ・「できる」ことを通して、社会の一員として、自ら役割を担い、継続的にキャリアアップしようとする
- ・自分の思いを自分なりの方法で伝える子ども

学校教育目標やめざす姿を達成するために

受け継ぐ

西総合支援学校が大切にしてきた教育理念

- 児童生徒は、できる状況や手立てがあれば「できる」存在である
- 児童生徒を、地域に生きる一人の生活者として捉える
 - ・子ども自身の志向を育み尊重する
 - ・発達の道筋に沿い、生活年齢を大切にする
 - ・「個別の包括支援プラン」による子どもの「生きる力」と保護者への支援
 - ・実際に生きる地域で学習を展開する



実践する（3年計画2年次）新たな教育課程の創造

専門性向上

- キャリアアップ
 - ・授業力・実践力の向上
 - ・支援の引出しを増やし、自信をもつために
 - ・特別非常勤講師・外部専門家との連携
- 学びたいことが学べる環境
 - ・ニーズやキャリアステージに応じた研修内容
 - ・研修方法の工夫や時間確保

研究推進

- 授業研究
 - ・子どもも大人も一人一人の「できる」のつながり、ひろがり
 - ・12年間の学びのつながり
 - ・教職員同士のコミュニケーション
- 学びの地図
 - ・小・中・高の学びのつながりと見える化
 - ・全教職員で共有
 - ・保護者、地域への発信

風土づくり・組織づくり

- 思いやりのある温かな学校づくり
 - ・安心して自分の良さを生かして働く環境
 - ・子どものことが語り合える関係
- 多様な働き方に応じた組織づくり
 - ・業務量や偏りの改善
 - ・ライフステージに応じた持続可能なシステムの構築

保護者とともに

- ・保護者に寄り添った相談支援
- ・卒業後の生活に向けてともに学ぶ

地域とともに

- ・学校運営協議会との協働
- ・地域と連携した持続可能な学習

信頼される学校づくり

- ・丁寧な相談・支援
- ・総合育成支援教育の拠点
- ・未来へつなぐ環境設定

子どもの命を守りきる

人権教育の充実

- ・多様性を尊重する風土
- ・自分や他者を大切にする取組



保健・安全・防災教育の充実

- ・子どもたちの主体的な行動の育成
- ・災害や事故、感染症等への対策



GIGAスクール構想推進の取組

継承する（次の10年へ）

西総合支援学校が長期にわたってめざすもの

- 子どもたちの「できる」「やってみたい」を大切にした教育（キャリア教育）の推進
- 子どもたちや保護者、教職員の継続的なキャリアアップを支援する学校
- 地域の支援センターとして機能する育（はぐくみ）支援センター
- 双方向の援助による新たな地域の創造
- 不易の中から新しい価値を創造し、発信し続ける学校

